

朝の詩
小鳥の
三重県松阪市
小山 肇美
64

保育所利用 就労問わず 少子化対策原案 多子世帯に手当加算

政府が週内に取りまとめる少子化対策のたたき台の原案が27日、判明した。全ての子育て家庭への支援を強化するため、就労要件を問わず時間単位で保育所な

トチャンス」として、今後3年間を集中取組期間に位置付けた。

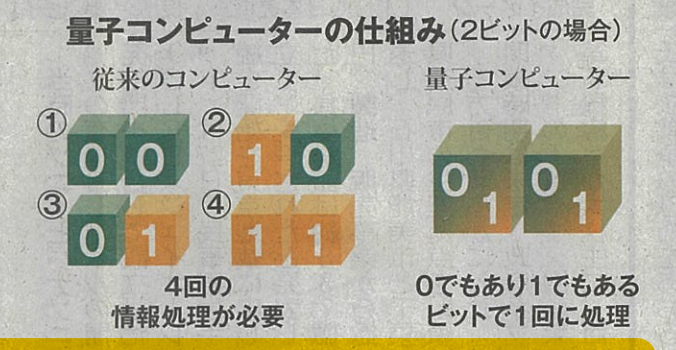
創設を検討する「こども出産や育児を躊躇する一因になっている教育費の負担軽減を図る。授業料後払い制度は在学中の授業料な

稼働した国産初の量子コンピューターと、開発を率いた理研・量子コンピュータ研究センターの中村泰信センター長—27日、埼玉県和光市の理化学研究所(酒巻俊介撮影)



量子コンピューター

従来のコンピューターが「0」と「1」の組み合わせで計算するのに対し、0でも1でもある「重ね合わせ」という特殊な性質を使って、大量の情報を一度に処理することができる。人工知能(AI)の開発や創薬、金融など幅広い用途が見込まれる。ただ、制御技術が発展途上で計算時のエラーが多いことや、小型化・集積化にも課題があることから、実用的な量子コンピューターの完成はまだ先といわれる。



国産量子計算機が稼働 理研など 米中先行巻き返し

理化学研究所などが開発した国産初の量子コンピューターが27日、稼働した。理研が埼玉県和光市に設置した試作機で、インターネット経由で大学や企業なども利用できる。量子コンピューターはスーパーコンピューターでも困難な問題を解けると期待され、科学や産業に革新をもたらす可能性を秘めた夢の計算機。幅広い人材に使ってもらい、関連技術の研究開発を促進し、世界で激化する量子コンピューターの開発競争で巻き返しを図る。

量子コンピューターの開発競争はこれまで米国と中国が先行してきたが、実用的な量子コンピューターの開発競争は、世界で激化する量子コンピューターの開

実現はまだ先とみられ、日本にも勝機は十分にある。国産機の登場で日本が世界と伍していく態勢が整った格好だ。

政府は量子技術について、経済安全保障上、極めて重要として関連技術の自国保有や人材育成を推し進める戦略を策定。この中で令和4年度内の国産機整備



京都の新庁舎で業務を開始し、報道期待感を語る都倉俊一長官(右)日、京都市上京区(渡辺恭晃撮影)

文化庁、京都で業務開始 長官「文化芸術立国を推進」

文化庁は27日、京都に移転し、京都市上京区の新庁舎で業務を開始した。明治以来初の中央省庁の地方移転で、東京一極集中是正の一環。文化の力による地方創生を目指す。都倉俊一長官ら約70人体制でスタートし、5月15日までに全職員約7割にあたる約390人が京都に移転、新生文化

科学相も東京からあいさつした。都倉長官は新庁舎で幹部らを前に「地方創生やデジタル化に対応し、文化芸術立国の新たなステージを進めていく」と語った。

政府機関の移転は、地方創生政策の目玉として政府が平成26年に打ち出し、28年に文化庁の京都移転が決まった。文化庁には「地方の目線」を取り入れた新たな文化行政が期待される。

移転を機に、食文化推進本部や文化観光推進本部を新設。各地の伝統的な食文化の継承や国内外へのPR、文化施設を核とした観光振興に取り組み。国立の文化財修理センター(仮称)も京都で整備する計画だ。

一方、他省庁では、消費者庁や総務省統計局の一部業務の拠点を地方に移すに

世界一に喜び

28面

北、短距離弾道弾2発 2、7
台湾・馬英九氏が訪中 3
東証再編1年 活性化不発 9
いまを紡ぐ 藤井聡太のことは 19
肖像画 月刊
テリー伊藤さん 23 永井紗耶子 26
オビニオン 13、15 生活 17
経済 8~10 スポーツ 21
証券 8、10、11 週間天気 26
囲碁・将棋 15 BS・CS・ラジオ 23

◇おことわり 「民主主義の形」は休みます。

きょう	5時未満	5時以上	降水確率	予想気温(最高/最低)	あす
大阪	☀	☀	0	18/9	☀
京都	☀	☀	0	18/7	☀
舞鶴	☀	☀	0	15/6	☀
神戸	☀	☀	0	17/9	☀
豊岡	☀	☀	0	15/4	☀
大津	☀	☀	0	17/5	☀
奈良	☀	☀	0	18/5	☀
和歌山	☀	☀	0	18/9	☀
福井	☀	☀	0	16/4	☀
岡山	☀	☀	0	19/8	☀

朝晴れエッセー 定年を迎える皆へ

満開の桜の木に制服姿で並ぶの写真。この写真は、昭和期の仲間と警察学校の門の前だ。

この後、つらく厳しい学校生活、一刑事になりたい。人々、等とそれぞれの思いを胸に、その町へと旅立っていった。42年もの月日を経て、今日迎えるのだ。

ただ、全員が同じ道をたどってはいない。人を相手にする。理想と現実のギャップに思い悩む。道を踏み外したり、中には半ばにしてこの世を去った者も。特に、満面の笑顔で将来を君、君のその後の42年間は、たのみな。良いことばかりは、失敗も多すぎた。迷いや関係での悩み等いろいろあっても最後までやり通した気持で4年ほど前に、「わが相棒いなし」と言って引退した。ど、きっぱり言い切れる人を送りたい。でも、多分多分張ってそう言えるものではないを残してきたと思うよ。

そしてそれらを乗り越えて皆は立派だと思ふ。自分なりのたんだから、今日は自分で受けよう。

そしてもうしばらくしたの下に集まり、「頑張ったね」と肩をたたき褒められた。

中山末夫(60)



山田哲人のメッシュ・ワイ